

FD・IR 企画部会 2023 年度目標および主要計画

FD・IR 企画部会委員長 小林 正樹
大学企画室長 小山内幸広
教務学生課長 目黒 裕二

1. 2022 年度までに示された主な課題・指摘事項・学長指示事項（未完了分）等

- ・授業科目ごとの（教員と学生双方の）振り返りのあり方と授業評価アンケート回答率の向上
- ・IR データの積極的活用
- ・学修成果の可視化の実質化

2. 2023 年度の目標および主要計画

（1）FD（Faculty Development）関係

目標	① 学修ポートフォリオ運用案の作成および試行実施 ② 新授業評価アンケート実施案の作成および試行実施 ③ ティーachingポートフォリオの定着化および活用案の作成
計画	① 学修ポートフォリオ活用事例に関する FSD 研修を行い、全学での活用法（実施時期・設問項目等を含む）について検討する。 ② 授業評価アンケートについて、学生の振り返りを考慮した実施時期、設問項目、実施方法（新教務システム利用等）、学生へのフィードバック方法等を検討する。 ③ ティーachingポートフォリオの入力状況を確認し、項目の見直しや FD 活用案を検討する。 ・自動録画を利用したオンデマンド型授業参観の内容を拡充し、全教員参加の定着化を図る。 ・コロナ禍でのオンライン授業の経験を ICT 活用授業に繋げるための FSD 研修を行う。 ・学生 FD 懇談会を年 1 回以上実施し、結果を公表する。

（2）IR（Institutional Research）関係

目標	① IR データベースを活用した教員業績可視化案の作成 ② IR データベースを活用した学修成果分析レポートの作成 ③ 各種アンケート調査の統合・合理化（調査負担軽減）案の作成
計画	① 大学企画室が作成した原案（可視化項目・計算式）の妥当性を確認し、教員および集計担当者の作業負担省力化を考慮した可視化案を検討する。 ② FD・IR 企画部会委員の意見を踏まえて大学企画室の IR データベースを構築し、委員が分析できる環境を整え、代議員幹事会や FSD 研修会等で分析結果を報告する。 ③ 各部署のアンケート調査情報（時期・対象・方法・設問等）を集約し、関係部局との協議・調整の上、学生負担軽減かつ実質的回答が得られる調査のあり方を検討する。

（3）内部質保証

目標	① 学位プログラムレベルのアセスメント（専門学士力 MR 到達度の測定・評価）の試行実施 ② KPI（主要評価指標）を用いた自己点検評価の試行実施
計画	① 各学科において新アセスメント方針に則った専門学士力アセスメントの具体案を検討する。 ① 確認テストやルーブリックによるアセスメントを試行実施する。 ① 2025 改組に向けたカリキュラム改訂と連携しながら学修成果の可視化案の策定を進める。 ② IR データベースから KPI 一覧表を作成し、部門別総括を行う際の参考資料として配布する。 ② 自己点検評価報告書の内容（KPI 試行結果）を確認し、用いる KPI の妥当性を検証する。